

第3回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日 時 平成31年1月24日（木）午後1時30分～3時45分

場 所 多摩市立図書館 本館 講座室

出席団体

おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、
多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、布の絵本サークルピエロ、
ひなたぼっこ、もりの文庫

欠席 ひなの会

開会

自己紹介（第1回、第2回を欠席した「ひなたぼっこ」の代表者）

1回目は代理の者が出席しました。小さい子がいますがよろしくお願いいたします。

1 報告事項

（1）「第2回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会要点録案」の
確認

（事務局）

指摘があった箇所について、修正し、確定とする。

<今回（第3回）の要点録の確認について>

（会長）

次回の会議開催は5月の予定なので、開催通知に要点録（案）を同封するとなると、確定までに時間を要し、ホームページへのアップ等も遅くなるが、どうするか？

【結論】

- ①記憶が新しいうちに確認できるよう、要点録（案）が出来次第、事務局は各委員へ郵送する。
- ②各委員は内容を確認し、修正等の内容を事務局へ送付する。
- ③全委員で話し合った方がよいため、事務局は修正等を反映させた（案）を5月の会議に提出し、会議で確認をとってから確定させる。（ホームページのアップ等はその後となる。）

2 報告事項

（1）子どもの読書活動推進に関する主な事業等について

(事務局) (資料に基づき説明)

(委員からの主な意見、質問等)

- ・「子どもと楽しむわらべうた講座」について、講師の方も誠実に教えていただけてよかった。
 - ・図書館が講座を開いた趣旨は？
→公開にしたのは、ボランティアの方の実力アップ、自分の子どものためという、両方のご希望に沿うような講座として企画したためである。受講者は児童館の職員、保育園の方、ボランティアの方、活動とは全く関係ない個人の方等いろいろであった。
 - ・図書館のあかちゃんおはなし会のボランティアになるためには、この研修（全2回）を受けることが条件なのか？
→そういうことはない。図書館主催講座を実力アップに活かしてほしい。
 - ・図書館としては、おはなし会のボランティアになるための技術的な基準を設けたほうがよいのでは？
→三次計画で課題解決していきたい。現在は、おはなし会については各館長に委ねられている。
 - ・おはなし会を各館長に委ねるだけでよいのか、運営の仕方、ボランティアが団体で関わるのか個人で参加なのか、図書館としての基準があるのか等の問題の検討が必要ではないか。
- (会長)
- ・今後ボランティアがどういう形で図書館に関わっていくのかという件については別の機会に話し合うことにする。この場では「わらべうた講座」のことにのみする。

(2) 第10回子ども読書まつりについて

(事務局説明)

- ・グリナード永山展示でのご協力について（資料2）
可能であれば、空いている枠のご協力を追加でお願いしたい。（その場で追加申し出等あり）
- ・オープニングおはなし会について（資料2）
3月2日と3月3日、予定していた各2枠が設定できた。詳細についてはこれから個々に打ち合わせする。今回はじめての試みであるが、少しでも参加者が楽しめればと考えている。

(委員からの主な意見、質問等)

- ・「多摩おはなしの会」は会場がおはなし会にふさわしくないで申し込みはしない。
(ひとつの意見として、記録にとどめておいてほしい)

・「つくしんぼ文庫」も不参加である。理由は前回の要点録に記載されている通りである。

3 審議事項

(1) 市民ボランティア連絡委員の募集について

(事務局)

随時募集ということになっているが、新年度に向けて周知していく。平成31年度第1回会議に参加できるためのスケジュールを考えると、3月5日号の「たま広報」に掲載し、応募は4月15日締切で募集し4月15日以降も受付を継続する。たま広報への掲載について、本日決めていただきたい。委員を増やすことが今回の課題である。

(委員からの主な意見、質問等)

【開催日、時間について】

- ・参加を呼びかけるにあたり、今の会議の開催時間等ではなかなかむずかしい。
- ・午前中なら子どもが幼稚園にいらっているので出やすい。子どもを一時保育に預けてきているのでボランティアとして来ているが、預けるには費用をかけてきているので相当な熱意を持っていないと難しい。
- ・子ども連れでも（可）と表記してもらえれば出やすくなる。

(会長)

- ・みなさんの合意が得られれば、次回は午前中に開催することもありうる。
→（事務局）次回の日程は、3月5日のたま広報に掲載するためには、本日決めてもらう。募集要項に第1回の日程を載せる。

(会長)

- ・日程については、後ほど決める。

【周知について】

(事務局)

事務局が把握している団体は20団体です。（団体名のみの紹介）ご存知の方が多いと思います。これ以外の団体へ声かけしていただきたい。

(会長)

では市民ボランティア連絡委員の募集については、たま広報の3月5日号に掲載していただく。

(2) 平成31年度（2019年度）市民ボランティア連絡会について

(事務局)

年3回から4回を予定している。内容は資料4の表のとおりを予定している。

5月下旬の第1回は第三次計画アクションプランについて（報告）と第三次計画に基づ

き「子ども読書まつりのあり方について」である。イベントのあり方を総合的に再検討する。中・長期的な視点で審議していただきたい。なお第11回で反映できるものは検討していく。

(委員からの主な意見、質問等)

・「第11回子どもまつり」について、反映できるものは反映することだが、どのように？

→ (会長) 事務局より説明があったとおり、審議時期の関係上（間に合わないので）、第11回は今年と同じように行う。第12回については意見をいただきながら進めていく。

(事務局) 第11回はまずは継続することを考え、第10回の反省を反映していきながら、今後第12回をどう変えてどう発展させるか審議していく。他の推進連絡会の意見も聞きながら検討を進めていく。

- ・やるかやらないかという選択ではないのか。
- ・今回は図書館主催となったが、これまでは連絡会主催でやってきたはず。主催者の名前を変えて中身が同じなのはどういうことなのか？今まではなんだったのか？安易なやりかたと思う。
- ・推進連絡会が主催でやってきたのに、図書館側にそれが理解されていないのでは？
- ・「協力」と「主催」との違いが良く分からない。
- ・主催とは開催に責任を持っているところ、というのであれば図書館である。
- ・今までも開催については図書館が責任を持っていたので、主催は図書館になるのか？
- ・実態がどうなのか？ 実態に即したようにすればよいのか？

→ (事務局) 10年前は委員の方がいっしょにグラ作りまでやっていたとお聞きしたが、現在は、状況が変わってきている。

- ・変わってきたのは確かであるが、いい方向に変わってきたのかは疑問。パワーがなくなっている。第1回は文部科学大臣賞をいただいた「ほんともフェスタ」だった。意欲があり、一週間程度の期間に普段のおはなし会ではやれないことをやり、何年かは続いた。現在は、開催期間は延びたけれど、フェスタの冠だけつけて普通と変わらないことをやるようになってきた。
- ・第11回については？

→ (事務局) (繰り返しになるが) 第11回は今回と同じような形で行う。みなさんのご意見を反映できるところや反省点があれば取り入れて行う。

(会長)

ではこれでいいか？

→ 了承された。

4 情報交換及び次回日程について

(1) 次回日程

平成31年度(2019年度)第1回目は

5月23日(木) 午前10:00～12:00に決定。

子どもづれ参加可(保育なし) と明記してもらえると参加しやすい。

(2) 情報交換

(事務局) ほんともフェスタ期間中のおはなし会報告書(用紙)をお持ちください。

(委員から)

- ・文庫展チラシ・ポスターをお持ちください。
- ・文庫連だより、12月号と1月号をお持ち帰りください。

(3時30分終了)